



水道 GLP 認定証授与式（9月14日）

水道 GLP 認定委員会で認定の更新が決定した千葉県水道局（認定番号：JWWA-GLP088）の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会理事長室において行った。



未納料金対策実務研修会（大阪会場第2回：9月8日～9日）

水道事業及び賛助会員の主に料金徴収業務に携わる方々66名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第5回：9月13日～16日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員（水道関係企業所属）の方々を中心に15名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに、設備機器の保守・管理の実務について研修を実施した。

第4回水道維持管理指針改訂特別調査委員会（9月14日）

水道維持管理指針改訂版の最終原稿（案）について、各小委員会の主査より本委員会委員に対し、前回委員会からの修正点を中心に説明があり、検討を行った。

本委員会委員から指摘のあった事項について、その場で修正が難しいものについては小委員会等で改めて確認することとし、最終的な修正内容の確認は委員長に一任することとした。

その後、事務局より今後の改訂スケジュール等について報告し、委員会を閉会した。



第38回水道施設に関する規格専門委員会（9月15日）

水道用 GX 形ダクタイル鋳鉄管・異形管（JWWA G 120・121）、水道用ダクタイル鋳鉄管用ポリエチレンスリーブ（JWWA K 158）及び水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）の規格改正に係わる委員会を開催した。

議題(2)「水道用 GX 形ダクタイル鋳鉄管・異形管（JWWA G 120・121）への呼び径300・400の追加」、議題(3)「水道用ダクタイル用ポリエチレンスリーブ（JWWA K 158）への酸化誘導時間の試験項目の追加」及び議題(4)「水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）への GX 形呼び径300・400の追加」について、平成28年7月19日～20日に開催した1回目の審議に引き続き、規格本文及び解説の改正案の審議を行い、異議なく了承された。

なお、以上の議題は、平成28年11月29日に開催予定の第184回工務常設調査委員会へ上程する。

第949回会誌編集委員会（9月21日）

本誌10月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱いについて審議した。

第113回水道 GLP 認定委員会（9月26日）

水道 GLP 認定について、名古屋市上下水道局（JWWA-GLP015）、（一社）愛知県薬剤師会（JWWA-GLP014）、福井市企業局（JWWA-GLP067）、（一財）三重県環境保全事業団（JWWA-GLP113）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

漏水防止講座（東京会場第4回：9月28日～30日）

水道事業体及び賛助会員の漏水防止に従事する技術系職員の方々49名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探知技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使っての現地研修を行った。

第707回抄録委員会（10月3日）

本誌平成29年1月号及び2月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。